

参考資料 「9つのお手伝い効果 ～お手伝いをするようになると、こんなふうには変わる～」

1	気がつく子になる。	掃除を通して、汚さないようにすればいい事に気がつき、人の気持ちにたって、思いやれるようになる。
2	サッと動ける子になる。	汚れているな、と気がついたときにサッと動ける子になる。
3	生活技術の基本が頭でなく、身体で覚えらる。	くり返すことによって、無意識に身体が動くようになる。
4	生きることに前向きな子になる。	食べる喜び、きれいにすることの気持ちよさなどを通して、充実感を感じ、生きることに積極的になる。
5	ものを大切にできる子になる。	手入れをする、交換する等、手を動かしていると「使い捨て」ではわからない、暮らしの豊かさを感じられるようになる。
6	人ときちんと向かい合える子になる。	お茶を運んだり、回覧板をまわすなどのお手伝いを通して、家族以外との人間関係を学ぶことができる。
7	コミュニケーションができる子になる。	お手伝いを通して、親子の会話はもちろん、近所の人のおつきあいもできて、コミュニケーション能力がつく。
8	おとなへと成長させる。	例えば留守番は家のことに気を配って、きちんとしなげやという緊張感を強いられる。これが子供を大きく成長させる。
9	家族の一員としての自覚が育つ。	自分の役目をもらい、きちんとこなすことで使命感も芽生え、家族の一員たる自覚もできる。

＜辰巳 渚 著「子どもを伸ばすお手伝い」(岩崎書店)より＞

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

県民の皆さんの声 (広島県教育モニターアンケートより)

◆とにかく、親も子育てを楽しむぐらいの気持ちが必要、うまくいなくても当たり前ぐらいの気持ちを持つ。カエルの子はカエルですよ。

◆手伝いなどを「やりたい!」と言った時に、「自分(親)がやったほうが早く終わるけどなあ…」などと思いつつもやらせてみました。案の定失敗したりしていましたが、「どう?」と自信たっぷりに言うので「助かったよ～! ありがとう!」と言うと、進んで毎日続けてやるようになりました。今でも「手伝いなさい!」と命令するようなことは、ほとんどありません。



お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp



寄って話して
自ら気づく
「親の力」をまなびあう学習プログラム

〇〇ちゃんがするっ!!!

～自我の芽生えと親の思い～



幼児期は自我の芽生えの時期。自己主張も激しくなり、なんでもかんでも自分でしたがるようになります。行動範囲も広がり、親は気が抜けません。「危ない!」「またやっちゃったの!」「いいかげんにしなさい!」…追いかけて、怒鳴ってばかりで、気がついたらクタクタになっていませんか?

しつけはきちんとしながらも、ゆっくり、ゆったり、余裕を持って…そんな方法を探してみましょう。

マンガを読んで考えましょう



考えましょう, 出し合いましょう

① 「ヤメテ!」と言われた子供の気持ちを考えてみましょう。

「ヤメテ!」のことばを聞いて、すぐにやめた時の、子供の気持ちは?

「ヤメテ!」のことばを聞いても、どうしてもやりたがる時の、子供の気持ちは?

① これと似たような体験がありませんか。思い出して書いてみましょう。

② このお母さんの「ヤメテ!」という対応について、どう思いますか。

② このような場合、どうすればよかったと思いますか。